

2010年1月12日

綾部市長 四方 八州男 様

日本共産党京都国政委員長	成宮 まり子
日本共産党京都5区代表	吉田 さゆみ
日本共産党京都府会議員団団長	新井 進
日本共産党綾部市会議員団団長	堀口 達也

トステム綾部工場の一方的な工場閉鎖を許さず、

雇用と地元経済を守るための緊急申し入れ

トステム綾部工場が3月末で閉鎖すると発表した問題は、京都の雇用と経済、とりわけ北部地域に重大な不安を広げています。トステム綾部工場は、府営綾部工業団地に立地する最大の企業であり、正規・非正規あわせて377名の労働者のほとんどは綾部、福知山、舞鶴の三市に在住しています。もし、一方的に工場閉鎖が行なわれ大量の事実上の解雇が発生すれば、厳しい不況のもと失業者の生活不安だけでなく、いまでも深刻な北部地域の経済に大きな打撃を与えることは明らかです。

今回のトステム綾部工場の閉鎖は、利益や株主配当を確保しながら、その業務を中国大連工場に移すという工場再編計画であり、会社の一方的な都合によるものです。さらに、正社員には他府県工場への転籍か退職を迫り、非正規労働者には雇い止めを通知しており、企業の社会的責任と雇用責任が問われる重大な事態です。

従業員からは「家のローンがあり不安」「就職が厳しい中、突然雇い止めされても困る」など多くの不安の声があがり、労働組合が結成され、多くの支援も広がり、現在も会社側との交渉も行なわれています。しかし、会社側は依然として生産設備ラインの撤去・移設など工場閉鎖の準備を進めています。

トステム綾部工場は、京都府の工業団地への誘致企業であり、地元自治体も固定資産税の減免など優遇措置をとってきました。かかる事態のなか、綾部市としても市民の雇用と生活を守り、地域経済を守る立場から、全力をあげた取り組みを要請するものです。

特に以下の点について具体化されるように強く求めます。

- 1 市長が直接工場閉鎖の撤回と雇用の確保の先頭に立ち、以下の点で行動していただくこと。
 - ・直接トステム本社及びトステム綾部工場を訪問し工場閉鎖撤回を要請すること
 - ・トステムに対して、綾部工場での労働者が仕事を奪われないために、一方的な生産ラインの撤去の中止と仕事の提供を強く求めること
 - ・知事への働きかけをさらに強めるとともに、国に対しても働きかけを行なっていただくこと
- 2 トステムの社会的責任を明確にし、パート、契約社員の雇用も継続するために、雇用を確保する方途を府、関係市、トステムで協議検討いただくこと